

Monthly  
Company  
Magazine

ONDO

月刊 おんど

January

No.556 2024

1月

ウチヤ・サモスタート株式会社  
UCHIYA THERMOSTAT CO.,LTD.

月刊おんど編集部（総務部）

〒341-0037

埼玉県三郷市高州2-176-1

TEL: 048-955-4181

FAX: 048-956-1310

E-mail: info@uchiya.co.jp

## 新年明けましておめでとう御座います

令和6年 元旦

社長 清水 澄人

皆様、新年明けましておめでとう御座います、本年も宜しくお願ひ申し上げます。

さて、今年の干支は辰年ですが、辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年といわれています。戊辰戦争(1868年)、日露戦争(1904年)が辰年に起きています。また戦後では、皇居前でデモ隊と警察が衝突して1500名が死傷した血のメーデー事件(1952年)も辰年に起きています。政変の年とも言われ、ロッキード事件やリクルート事件といった汚職事件も辰年に発覚しています。良い出来事では東京スカイツリー開業(2012年)、2000円札発行(2000年)、青函トンネル・瀬戸大橋開業(1988年)、東京五輪・東海道新幹線開業(1964年)などの国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴といわれています。大きな出来事が多く、まさに動乱の年といわれています。



省みますと、2023年度は米ドルに対する円安の進捗があり、中国での加工貿易を目的とした日系企業には厳しい環境となっています。最大の要因は、金利にあると言われています、基本的に、為替相場は金利ラリーの様相を呈し、信用力が高い通貨のうち、金利が高い通貨が買われて、金利が低い通貨が売られる。金利が高いユーロや米ドルは買われるが、低い日本円は売られることになる。日銀の政策修正が投資家の想定よりも遅れていることが、円売りドル・ユーロ買いの流れにつながっていると考えられています。

「米国で長期金利が5%を超えるとの観測が強まっている。米連邦準備理事会（FRB）による金融引き締めが長期化するとの見方に加え、財政運営をめぐる混乱が金利上昇に拍車をかけている。米国債需給の悪化も進む。市場は金利高を底堅い米景気の裏付けと前向きに評価してきたが、足元では経済に急ブレーキをかける「悪い金利高」と見解が変わり始めた。ECB(European Central Bank)は9月の政策

理事会でも政策金利を0.25%引き上げ4.5%としたが、日銀は▲0.1%のままで据え置いている。(日本経済新聞より)

日本のエコノミストで日本経済が弱く、財政赤字が多いので円安との説明には違和感を持っています。

加えて、コロナ禍ですっかり中国政府の海外に対する経済活動(一带一路)は不調を来し、更に香港の民主化問題、台湾への統一化圧力、米国との不仲、不動産バブル、等々での外資の引き上げは大きな失速原因となっています。又、欧米の景気は悪く、不況と言える

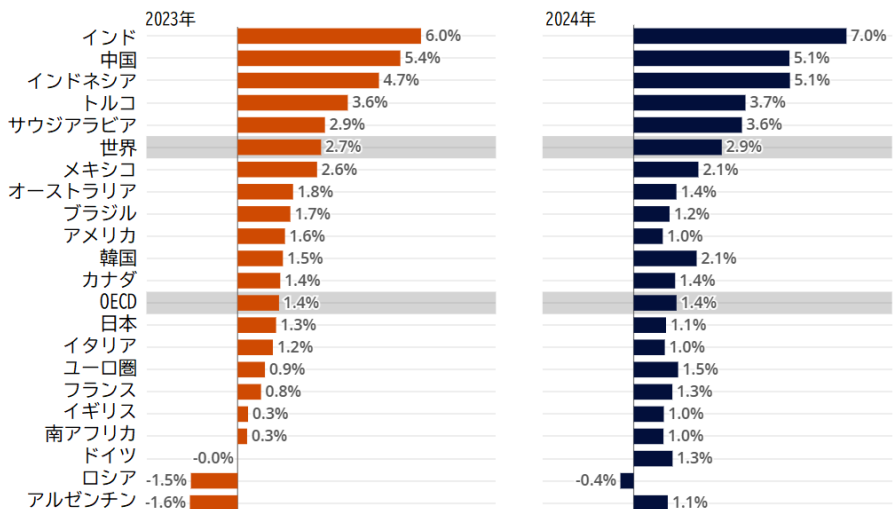
状況であり、欧州一の経済大国ドイツの売上は約-50%で推移、イタリアはもっと悪い状況です。米国は民主

党と共和党の2大政党が真逆の政策を掲げ、国が粗半分に分かれた世論が形成されて大変に難しい局面であります。米国大統領代行の順位2番目とその権威のある下院議長の解任も米国史上初めて起こっています。ロシアのウクライナへの侵略戦争に対応する米国からの援助は、政権が変わると停止すると言われていています。侵略を許して平和が来るのか！ 欧州は強力な援助を約束していますが、隣国の東欧のポーランド、スロバキヤ、ハンガリー、各国は国内不景気を理由に支援を打切ると言い始めています。更



には多くの民間人が犠牲となっている、イスラエルとパレスチナの戦争も起きてしまいました。戦争に因るエネルギー不安、難民の増加、アフリカ諸国への食糧援助問題、世界的な気候変動へのCO2低減対応、人権侵害、等々の深刻な問題が蔓延しています。更にはロシア、北朝鮮、イラン、中国が従来の国連主導の世界秩序を変えようと画策さえしています。世界的な政治・経済・環境不安の要因が余りに多く、景気は揚々には浮上し難いと思われま

そんな中、強いて言えば、昨年9月21日岸田総理大臣は、ニューヨーク経済クラブ(日本外務省発表)で、米国を代表する財界人の前で、日本の、この1年の経済指標は、30年前以来のパフォーマンスを示している。名目GDP成長率は年率11.4パーセントで、主要先進国で最高の伸びとなった。国内投資も、今年(2023年)、100兆円を超え、日本史上最高を更新する見通しだ。低迷してきた賃金は、物価高を上回る、3.5パーセント超の引上げで労使交渉が妥結し、最低賃金も来月(10月)より4.5パーセント引き上げる。とのスピーチをされています。要するに、現在、世界の中でも日本経済が最も良いと言う事が主旨でした。中々我々には実感が少ないのですが、昨年1年、ほぼ毎月海外市場を回った私の実感では、岸田総理大臣、御案内の通り日本が1番良い経済状況と思います。例えば、台湾の台湾積体電路製造TSMCは日米連携の下、米国や日本での工場建設を進めている。こうした中、TSM



世界の成長予測 2.7%、日本は 1.3%  
実質 GDP 前年比 (OECD : 2023 年 7)

Cは、日本の熊本工場の建設の進捗は、米国・アリゾナ州の新工場よりも大幅に進んでいる。国の支援のもと、先端半導体の国産化を目指す「Rapidus（ラピダス）」は、北海道千歳市に建設する新工場の起工式を行い、4年後の量産化に向けて本格的に始動しています。大変に将来性のある明るい話題です。ウチヤ社もこの生産設備や検査装置へのハイブリッド・サーモスタットの搭載を進めています。



TSMC 熊本工場 JASM (tsmc Fab23) 熊本県菊陽町

さて、ウチヤ社とは言いますと、70%が海外の顧客であり、昨年は世界的な顧客様の在庫調整が続き、受注減の厳しい状況が続いています。その為、国内客先の早い受注回復、新規顧客の獲得(半導体製造設備・検査装置)及び新市場の開拓(医療機器・航空宇宙)を強化したこと、又、高付加価値商品をアピールする市場戦略を進めて来たことで、今年2月末決算は厳しいながら、前期比16%程度のダウンで治まると予測しております。今年、後半には何時もの忙しい状況に戻らうと前向きに考えております。然し乍ら、ご案内の昨今の複雑な世界情勢の行方を読むことは大変に困難であり、目下、丁寧且つ迅速な再市場調査を行なっております。

ピーター・ドラッカーの名言に「変化はコントロールできない。できることは、その先頭にたつことだけである」即ち、自らビジネスを創造して行く他に対策はないと言う事です。

昨年は健康企業宣言を行い、東京都電機健康保険組合の指導を受けながら、健康経営優良法人認定を健康保険東京連合会から受けるべく活動を開始致しました。今年は全従業員、役員及びその家族が健康に向けた本格的な取り組みが始まります。品質システム関連では、2年前からスタートさせました自動車産業品質マネジメントシステム IATF の認証審査を受ける計画です。又、ウチヤ共栄会に置きましては、今年3月に設立50周年記念行事(グルメ懇親会や記念ゴルフコンペ)を実施する予定になっております。又、昨年の9月に国連グローバル・コンパクトへの加盟申請が受理されましたが、今年はこの国際イニシアチブ(積極的な率先)に従ったSDG'sの実行を更に強化します。この活動の一環として行っています日本赤十字社への寄附に対して、東京日赤紺綬有功会としての活動が評価されて社長感謝状を昨年8月に





頂きました。 企業の社会的責任・貢献としての寄附金が継続出来ますことを願っています。



最後にウチヤグループは国連グローバル・コンパクトへの加盟を果たし、この国連グローバル・コンパクト 10 原則で提唱されている腐敗防止に関して、取締役会にて当社グループの全社員を対象とする腐敗防止宣言を定め、本方針の原則に沿ってグループは、「公正かつ自由な競争の促進」、「反社会的勢力との関係遮断」、及び「贈収賄の禁止」を目的とする腐敗防止プログラムを実践しています。

ウチヤ・サーモスタット株式会社 代表取締役社長 清水 澄人



## 第 149 回ゴルフ会及び共栄会懇親会参加報告

令和 5 年 11 月 24 日

資材総務部次長 菅野 敦

先般、10月26日、27日の両日、晴天秋晴れの好天の中、秋のウチャ共栄会が開催されました。秋のウチャ共栄会開催は久しぶりとなります。ウチャ共栄会会員お取引様7社13名、ウチャからは7名の合計20名が参加し開催されました。

初日は、雲ひとつない晴天のもと、群馬県桐生カントリークラブにおいて恒例のゴルフ会がです。桐生カントリークラブは、ウチャ製品の樹脂成型加工をお願いしている株式会社宮原合成様ご推薦のゴルフクラブで、赤城山南麓、標高670mの丘陵地に広がる林間コースで、夏は涼しく快適なゴルフが楽しめ、冬の晴れた日には関東平野を一望でき、東京スカイツリーも見えるほどコースからの眺望が美しいコースとのこと。3チームに分かれ、9:30にスタート、腕に覚えのある勇士9名が参加し熱戦を繰り広げ、ナイスショットを連発、あまりの熱の入れようにより終了時間をオーバーするに至ったと聞いております。ゴルフに参加された皆様、大変にお疲れ様でした。

また、ゴルフをされない皆様は、三々五々、ウチャ共栄会開催会場であります伊香保温泉岸権旅館に來場されました。



<伊香保温泉の風景①>



<伊香保温泉の風景②>



<岸権旅館の外観①>

ここで、今回のウチャ共栄会開催でお世話になりました岸権旅館(きしごんりょかん)について少し触れさせていただきます。

「創業四百有余年、安土桃山時代から受け継がれてきた伝統を大切に心地よいおもてなしをお届けします。伊香保温泉独特の鉄分を多く含んだ「黄金の湯」は硫酸温泉で美肌の湯としても知られています。」。歴史を感じさせる趣のある建物で、入り口にある足湯は、映画テルマエロマエ第一作の撮影にも使われたそうです。



<岸権旅館の外観②>



ウチャ共栄会懇親会は定刻通り 18:30 からスタート、ウチャ共栄会会長の有限会社第一工業 末川一成会長から開催のご挨拶がありました。また、ウチャからは、打矢会長が来年ウチャ共栄会 50 周年記念食事会のご案内、清水社長からは直近のウチャの業績説明について話をされました。藤伍精機株式会社佐藤二郎会長による乾杯の後、食事会がスタート、上州牛懐石を堪能、アルコールも入りほろよい加減のところで、本日のゴルフの成績発表です。株式会社宮原合成の宮原一国会長が優勝カップを手にとりました。おめでとうございます。引き続き宴もたけなわではありましたが、定刻となり藤伍精機株式会社佐藤健一新社長による一本締め、来年のウチャ共栄会 50 周年に向け、ウチャ共栄会会員各社とウチャとの今後益々の相互協力を誓い夕食会はお開きとなりました。引き続き、2 次会は日本発祥のカラオケです。仕事が先か歌が先か、参加されましたウチャ共栄会の皆様方のプロ顔負けの歌声には感心しきりでありました。予定通り 22 時にはお開きとなりましたが、その後、歌い足りないメンバー数名が夜の伊香保温泉に消えてゆき、カラオケを堪能したとかしないとか…。

翌日は朝食後に現地解散、時間のある方々は、ケーブルカー、群馬富士榛名山等を見学、伊香保グリーン牧場にて昼食を堪能し、無事秋のウチャ共栄会は終了となりました。何分久々の秋のウチャ共栄会開催となり、ウチャ側の至らぬ点が多々有ったものと感じております。この反省点を今後のより良いウチャ共栄会開催に活かしてゆきたいと考えております。ありがとうございました。



<榛名山から伊香保温泉を見下ろした風景>



<榛名湖周辺 (写真は渡辺製作所の麗文社長)>



<ゴルフ会の様子>



<ゴルフ会で宮原会長が優勝>

# ヨーロッパ出張報告

2023年12月5日

研究開発部長 飯塚和幸

2023年11月9日～12月1日に清水社長と2023年2回目のヨーロッパ出張をしました。第一の目的でありますドイツでの展示会出展、イタリア、イギリスのお客様訪問、アイルランドへ渡りウチャアイルランド (UIL) 訪問と、約3週間の長期出張となりました。

ドイツの展示会は SPS (Smart Production Solutions) という展示会で、バイエルン州ニュルンベルク (Nürnberg) のメッセで開かれました。スマートオートメーションとデジタルオートメーションの全範囲をカバーする、というコンセプトで開催され、制御技術、電気駆動システムおよび部品、産業用通信、機械インフラ、センサ技術とシステムソリューションなどの分野の製品が出展されました。コロナ禍の時は開催されませんでしたでしたが昨年からは復活し、ウチャ社は継続的に出展しています。前述の様々な分野がある中で、センサ関連が集合するホールにブースを設けました。

今年は Hybrid Thermostat JP/EP シリーズのプロモーションを積極的に行いました。同一モデルで、交流/直流、大電流/微小電流、プロテクタ/コントロールと異なる6種の仕様をカバーできる画期的な商品です。オートメーション企業などが、電子制御が故障したときのバックアッププロテクトに使えると大変関心を示して頂きました。新規受注を期待してお客様のご要求に今後対応していきます。

リード線の供給で大変お世話になっております富士電工株式会社の代表取締役社長吉田様が、ヨーロッパ市場調査のためウチャ社のブースを拠点にして展示会をご視察されました。新市場開拓の一助になれ大変嬉しい限りです。



UIL とドイツ代理店 Claus Schäfer 社との共同出展、富士電工株式会社吉田社長ご来場



レンタカーで移動してお客様訪問を行います。ガソリン価格が非常に高いことが改めて分かりました。ロシア・ウクライナ戦争の影響もありエネルギー価格が高騰しており、レギュラーガソリンは約 2 EUR/L で、日本円に換算すると約 320 円/L になります。円安も関わり、日本と比較すると約 2 倍の価格です。

ドイツ政府は EU の欧州グリーン・ディール政策に沿って「環境配慮と経済成長の両立」及び「2050 年にカーボン・ニュートラル実現」を目指しています。クリーンエネルギーである水素に関する国家戦略が策定され、研究・実証から大規模生産へという、水素市場立ち上げの新たな段階への枠組みが設定され、2030 年までの目標と対策が定められています。立ち寄ったガソリンスタンドでは、ガソリン給油機のすぐ隣に水素充填機が設置してありました。水素の価格は 1kg 当たり 15.25 EUR (約 2,400 円/kg) でした。日本では現在約 1,200 円/kg ですので、水素においても価格は 2 倍です。水素で走行する燃料電池自動車の性能にもよりますが、水素 1kg 当たりの走行距離は約 100km、5kg で満タンの水素タンクでは、500km 走行で 76.25EUR (12,200 円) となります。ドイツ、日本を含め各国でインフラ整備と水素価格低下のためのロードマップが描かれています。



イタリアでお客様訪問をしている週の夜に、ウチャ社の元イタリア代理店 EleMar 社の Martinetto ご夫妻と再会し、近況の情報交換をし、イタリアの経済状況などを伺いました。昨年までイタリアの窓口としてサポートをして頂きましたが、ご引退したため今年是我々だけでイタリアを回りました。それをとても気にかけて頂き、ヒータエレメントメーカーの 1 社に引退しているのにも関わらずご好意でご案内をして頂きました。これまで長年に渡り大変お世話になりましたので、感謝の気持ちを込めて、来年 3 月に開催予定のウチャ共栄会 50 周年のお祝い会に招待いたしました。



Martinetto ご夫妻



さて、最後の訪問場所であるイギリスで重要なお客様を訪問しました。この訪問と商談は上手く事が進みました。しかし、イギリス国内の移動に大変苦勞しました。ロンドンヒースロー空港に到着しレンタカーを借りるのですが、予約した車からアップグレードしますと伝えられました。アップグレードは通常嬉しいのですが、EV 大手と急成長し世界進出している企業の電気自動車が貸し出されました。はじめは躊躇しましたが、車の性能を確認できるチャンスと捉え受け入れました。まず、最初の状態で充電量が 82%で満充電ではなく不信に思いました。あとで確認すると 80%以上で貸出および返却をするというルールになっていました。そこから宿泊先のホテルまで約 100km 走行したら 40%まで低下しました。この充電量では次の日の重要なお客様の会社まで行くことが心配でしたので、充電スポットを探しました。幸い宿泊するホテルに設置してあり、夜 9 時 30 分を過ぎましたが車の中で待機しながら約 1 時間充電し、元の 82%に回復することができました。なお、100km 走行相当の充電料金は 22 GBP (約 4,100 円) と高いです。

ここまでは何とかかなりでしたが、その次の代理店訪問のためにまた充電する必要がありました。インターネットで充電スポットを調べてもその通りではなかったり、充電設備が故障していたり、1 時間以上探し回っているうちに充電量が 9%と危機的な状況になりました。やっと見つけたスーパーマーケットの充電設備は急速充電設備ではなかったので 1 時間充電しても 16%までしか回復できませんでした。最終的に電気自動車は諦めてレンタカー会社に戻りガソリンエンジン車に交換して頂きました。時間と労力を非常に使い、海外出張では今の技術と普及レベルの電気自動車は使用してはならないと心から思いました。



長かった 3 週間の出張もいよいよ終わりとなり帰国の時を迎えました。宿泊していたホテルに近い、ロンドンヒースロー空港の Terminal 4 から出発便のある Terminal 3 までの移動を、出発日の前日に確認に行きました。無料の電車で移動できるルートを確認しましたが、無料チケットの発券機が故障しているのが気になりました。次の日までには修理されているか、無理なら有料チケットで乗車しようと思われホテルに戻りました。そして帰国当日、早朝 6 時にホテルを出発し Terminal 4 の電車乗り場に向かおうとしたところ、そのフロアへ向かうエレベーターがほとんど故障していました。空港や駅のスタッフ何人にも聞い



で電車が止まっていることが分かりました。エレベーターは故障ではなく、電車が動かないのでロックされているということでしたが、何の掲示もありませんでした。電車の故障かストライキかも何ら情報発信はありません。バスやタクシーという選択肢もありましたが、様々動き回った結果、別のラインの電車が動いていることを偶然見つけました。そして

目的の Terminal 3 へ到着することができ、無事に飛行機に搭乗し帰国することができました。

海外で移動するということは、日本とはまったく異なるということをここで改めてお伝えしたいため、長文で述べさせて頂きました。実際には更に詳細がありますが、とにかく、まず事前に調べ、その通りでない場合の選択肢も考え、時間に余裕をもつことが重要です。

この様に渡航中は常に緊張状態が続きますが、休日の移動中は日本では見られない景色を見て緊張感を少しだけ解くなど、様々な良い経験をすることができました。



アイランドのテイ湖（Lough Tay）通称ギネス湖と、北アイランドの海岸の吊り橋（Carrick-A-Rede Rope Way）

以上



## 秋季全国火災予防運動に伴う「三郷市内三駅での広報活動」参加報告について

2023年12月11日

営業部課長代理 黒田沙百合

資材総務部課長代理 今田優子

三郷市防火安全協会より、秋季全国火災予防運動に伴う「三郷市内三駅での広報活動」の協力について(依頼)のFAXが届き、営業部課長代理黒田、資材総務部課長代理今田で2023年11月9日(木)17時より17時20分まで参加させていただきましたので、ご報告致します。

事前にFAX回答用紙に、三郷市内三駅の中から希望する駅名に○をして選びます。

1 新三郷駅、2 三郷駅、3 三郷中央駅の中から、今回、私たちは三郷中央駅を選びました。三郷中央駅に参加された方は、三郷市消防本部から職員3名、三郷市防火安全協会会員13名(黒田、今田含む)の合計16名で、渡された法被を着用し、参加者全員の集合写真を撮影した後、参加された皆さんと協力し、各駅ごとに用意されたリーフレット等200部を「秋の火災予防運動を実施中です。」と呼びかけながら、三郷中央駅の改札口付近にて通行されている方々にお配りしました。

<黒田>

こういった配布作業は初めてで、ドコでどの様に配れば良いのか？全く分からず、最初は改札口辺りを、ただウロウロするばかりでした。また、帰宅時間という事もあり、足早に過ぎて行く人が多かったため、なかなか受け取ってもらえなかったのですが、こういった活動に参加することができ、とても良い経験になりました。

<今田>

今回、初めて参加させていただきましたが、緊張していたこともあり、6部のリーフレット等だけでも通行されている方々にお配りするのはとても大変でした。通行されている方々は、急いでいるように見えたので、遠慮してしまい、なかなか声が掛けられなかったです。受け取ってもらえた時は、とても嬉しかったです。参加させていただきましたありがとうございました。



以上

# 健康優良企業「銀の認定」を目指そう！について

2023年12月18日

資材総務部課長代理 今田優子

本館1階の掲示物を貼り出している箇所に、「健康優良企業『銀の認定』を目指そう！」のコーナーを営業部黒田課長代理とともに作りました。月刊おんど及びこちらのコーナーでも『銀の認定』に必要な取り組みについてご案内いたしますのでご協力よろしくお願いたします。

今回は、宣言の証の「②要再検査の方に受診勧奨します」、「⑧心の健康に取り組みます」の2点について、ご報告いたします。

「②要再検査の方に受診勧奨します」については、2023年10月18日に社内で健康診断実施、11月22日に産業医伊藤先生に健康診断結果の就労判定を行っていただき、20名の方に「健康診断二次検査受診勧奨のお知らせ兼報告書」を手渡しいたしました。12月13日現在5名の方が結果の報告書を提出していただき、産業医伊藤先生に結果の報告書を確認していただきました。

「⑧心の健康に取り組みます」については、12月8日を締め切りとし、ストレスチェックを対象者の方全員に受検していただきました。ストレスチェックの結果も産業医伊藤先生に確認していただいております。

また、以前お知らせいたしました「仕事や健康に関する相談窓口」について、改めてお知らせいたします。担当は、資材総務部西谷部長及び今田です。メールや口頭で「産業医伊藤先生に相談したいことがあります。」とご連絡ください。その後、面談の日程調整を行います。これまでもすでに何人もご希望があり、相談に乗っていただいております。お気軽にご相談ください（伊藤先生は「単なる悩み相談で構いません」とおっしゃっています）。衛生委員会での衛生講話「メンタルヘルス」についても、併せてご覧ください。



※衛生委員会活動についても別の黒板でご紹介しておりますのでご覧ください。

以上